

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年4月2日	記入者		連絡先	2736	
平成18年度部名	経済部	課名	農林課	課長名	宮崎 孝司	
平成19年度部名	経済部	課名	農林課	課長名	小峰 幸夫	
事務事業名	農産物流通対策事業					
予算上の事務事業名	農産物流通対策事業					
1 総合計画における位置づけ				施策コード	31510	
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政策名	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします					
基本施策名	第5節 都市農業の振興					
施策名	第1施策 安定した農業経営の確立					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	相模原市野菜生産出荷奨励金交付要綱					
3 個別計画の概要	概要					
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付)			5 事業開始年度	昭和63年以前	
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
野菜生産農家の経営の安定化と市内産農産物の市内流通奨励を目的としている。				市内農業者		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
○野菜生産出荷奨励金 野菜生産農家が市内3市場へ野菜出荷する事と小規模生産者が農協や市内3市場を通じて野菜出荷する事を奨励することによって、生産意欲の向上と生鮮野菜の安定的供給を図る。 ○野菜生産出荷奨励金事務取扱交付金 野菜生産農家の生産意欲の向上を図るとともに、地場野菜の市内市場への出荷の促進、安定的供給を確保するため、市の野菜生産出荷奨励金の交付に要する園芸組合ごとの月別野菜売上金額集計事務を実施し、併せて出荷団体の円滑な運営を図る。						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移	[単位：千円]					
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	3,030	3,000	2,550	2,490	2,490	
一般財源	3,030	3,000	2,550	2,490	2,490	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	256	254	254	254	254	
事業コスト合計	3,286	3,254	2,804	2,744	2,744	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	野菜生産出荷奨励金			対象名称 と単位	出荷農家数	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	1,537	1,331	1,095	1,740	1,740	
対象数	92	86	86	86	86	
単位あたり経費(円)	16,707	15,477	12,733	20,233	20,233	
前年度比		0.93	0.82	1.59	1.00	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	出荷延べ人数（人）		指標式と指標の説明	出荷延べ人数 / 前年出荷延べ人数（目標）	
	平成 1 6 年度	平成 1 7 年度	平成 1 8 年度	平成 1 9 年度	平成 2 0 年度
実績	92.0	86.0	79.0		
目標	89.0	92.0	86.0	86.0	86.0
目標達成度（％）	103.4	93.5	91.9		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	出荷奨励金（額）		指標式と指標の説明	出荷奨励金 / 前年出荷奨励金（目標）（千円）	
	平成 1 6 年度	平成 1 7 年度	平成 1 8 年度	平成 1 9 年度	平成 2 0 年度
実績	1537.0	1331.0	1095.0		
目標	1478.0	1537.0	1331.0	1400.0	1400.0
目標達成度（％）	104.0	86.6	82.3		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【 A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない】					
B	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【 A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない】					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【 A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性【有・無】					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業				
	[] : 概ね良好な状況である事業				
	[] : 見直しを行う必要がある事業				
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		野菜生産農家の生産意欲と経営の安定、また、農産物の活発な市内流通のためには、必要不可欠な事業である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
・市内産農作物のPRを積極的に行い、消費の拡大を図る。 ・野菜生産農家の生産意欲の向上を啓発する。			年々、野菜を出荷する組合員が減っていると同時に、出荷する量も減少傾向である。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			